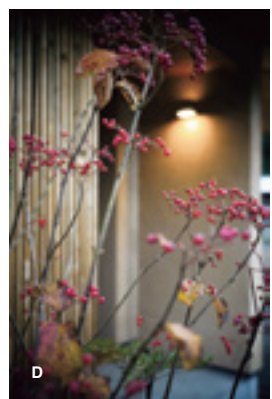


Builder:  
山本建設

Note:  
軽井沢町/H邸  
家族構成/4人



A\_軽井沢らしい景観のなかに上品な佇まいをみせるH邸。外壁のそとん壁は美しさや汚れにくさに加え、耐久性にも優れている。 B\_和の趣が品の良さを際立たせる玄関。株立ちの在来樹木との相性も抜群。 C\_植栽のコケは奥様がコツコツと手植えたもの。軽井沢暮らしの楽しみの一つ。 D\_葉や木の実の色づきも家の風情を演出。



## 軽井沢で充実の暮らしを愉しむ

軽井沢の立地を生かした  
理想の暮らしをかたちに

カラマツやモミが群生する軽井沢らしい林を背景に、スギ材の細格子と「そとん壁」の風合いが上品な存在感を放つH邸。切妻

屋根のシンプルな外観が、品の良さを際立たせています。

H邸があるのは、首都圏から軽井沢に移住して半年ほど経たご夫妻が散歩中に偶然見つけて気に入った場所。それまで生活していた中古住宅よりも自分たちの生活感覚にフィットする住まいを新築しようと決意するの

に、時間はかかりませんでした。まず「高気密・高断熱」をキーワードに実績ある工務店を探し、山本建設と出合います。社長と話し合い、数度の内見を経て、家づくりへの想いが通じ合うことを確信しました。

内見した住まいで、Hさんの印象に強く残ったのは、家の内外に人工的な雰囲気を感じられないことでした。吟味した自然素材を適材適所に使用し、敷地の環境を生かして設計しているのが見て取れたといえます。真冬なのに屋内全体が心地よく暖かいことにも感動。それを低燃費で実現させている技術の高さに信頼を深めました。

「軽井沢は二人が結婚式を挙げた所。移住して生活、子育て、仕事のどの面からも住みやすさを実感していました。この先ずっと住み続けることを前提に何を重視するかを検討し、プロの方々にあたりにしてもらった結果がこの住まい。まさに理想がかないました」



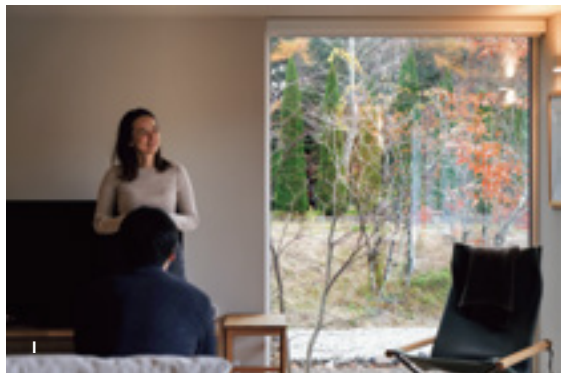
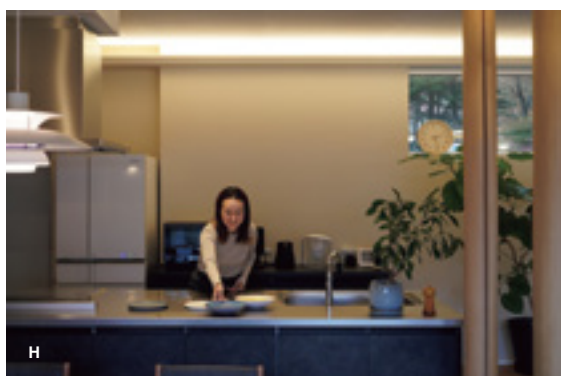


**G** 明るすぎない照明が室内に落ち着きと家族の親密感をもたらす。 **H** キッチンの壁面には棚がなく物のあふれるストレスがない。  
**I** 四季の景色とともに日々を過ごす楽しみを実感できる大窓。FIX窓なので建物の断熱性を損なわない。

Hさん夫妻が希望したのは家の中を常にすっきりとした状態に保てる、ストレスのない住まい。機能的な間取り、分散・集中のバランスがよい収納により、生活動線を可能な限り短縮し、家事効率を高めました。中でも、1階の中央に通り抜けタイプのウォークスルー・クローゼットを設置したこと、水周りを集約しキッチンアイランド型にしたことにより、フレキシブルな回遊動線を実現。掃除、洗濯、物干し、片付け、炊事等のあらゆる家事がラクに、スピーディに進められるようになりました。「無駄な動きを必要としないので想像以上の『ラク家事』がかなり、驚いているほどです」

また造作を工夫し、見える壁面には棚を一切設けず、ドアは天井から吊るタイプに統一し、視覚的にもすっきりさせました。Hさんのこだわりでもある「陰影礼賛」の美意識を反映した間接照明主体の明るすぎない室内は、スマートでいて、木の風合い

すっきりした空間と動線で  
あらゆる家事をラクに、スピーディに



ともよく馴染むぬくもりに満ちています。

1階からは周囲の森林や庭の四季、2階からは浅間山と、軽井沢の景観をいながらに楽しめるよう各所に大きな窓を配置。FIX窓を多くすることで断熱性を保持しています。

家そのものの断熱性能に加え、

太陽光発電とエコキュートの活用で電気代がほぼゼロになる点も、長く暮らしていく上での安心感につながっているそうです。

自然の中でのびやかに活動する子どもたちの姿に、たくましさを感じるようになったとご夫妻。家族で愉しむ軽井沢の四季に、日々ワクワクしています。

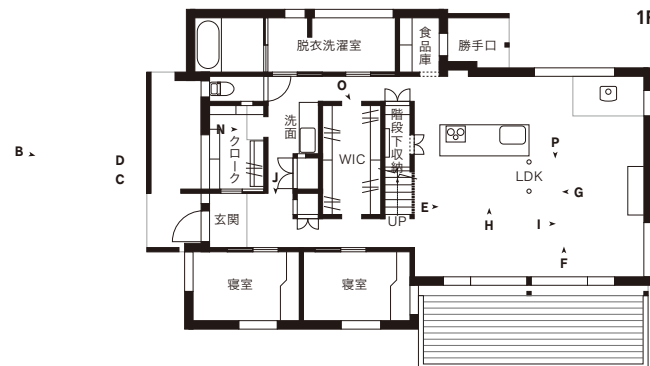
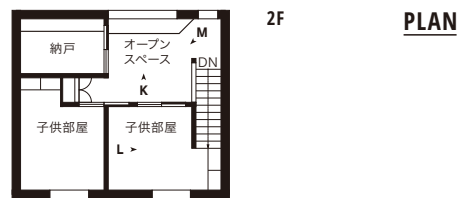
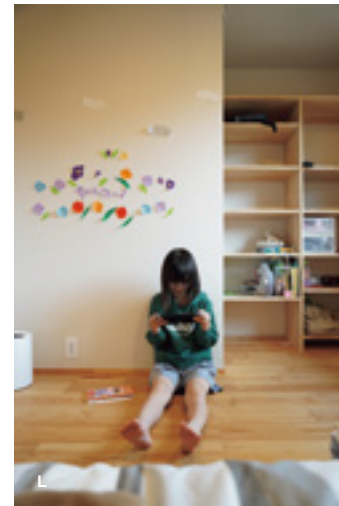


**E** 広縁と大きな窓により自然な明るさと開放感に満ちたリビング。いながらにして軽井沢の四季に親しめる。 **F** 家族が集まるリビングは交流と安らぎの空間。薪ストーブと床下エアコンを上手に併用し、心地よさと省エネを実現。





P\_広い庭の活用方法は、これからの楽しい検討要素。アウトドアを愛するご夫妻と元気な子どもたちの夢が膨らむ。 Q\_カラマツの林が美しい背景をなす外観。



**DATA**

敷地面積	1257.30㎡ (379.57坪)
延床面積	145.72㎡ (43.99坪)
1F面積	110.94㎡ (33.49坪)
2F面積	34.78㎡ (10.50坪)
デッキ面積	23.20㎡ (7.00坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱・梁・土台:長野県産スギ 断熱材/天井:セルロースファイバー500mm、壁:高性能グラスウール210mm、基礎:押出法ポリスチレンフォーム100mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:そとん壁・スギ羽目板 主な内装仕上げ/天井:クロス、壁:クロス、床:ナラ 開口部/樹脂サッシダブルLow-Eトリプルガラス(アルゴンガス入り) キッチン/クリナップ ステディア キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/TOTO サザナ 暖房の種類/床下エアコン C値/0.6 UA値/0.21

J\_1階には夫妻それぞれの部屋を設け、プライバシーを大切にしながら仕事や趣味を楽しむようにした。 K\_オープンスペースからも、窓に映える軽井沢の自然が眺められる。 L\_子供部屋には使い勝手を重視して、造作の可動棚を設置した。 M\_2階は子供部屋とオープンスペースだけのシンプルな空間。将来子どもたちが独立し、夫婦二人だけで暮らすことを考えての設計。 N\_玄関横にクロークを設け、リビングにカバンやコートが散らからないように工夫した。 O\_1階の真ん中に配置したウォークスルータイプのクローゼット。自在な回遊動線は家族みんなのお気に入り。



Owner:  
Hさんご家族

**Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?**

A 家事にまつわる無駄な動きや散らかりがなくなり、日常的なストレスから解放されました!

**Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?**

A 1階真ん中に通り抜けられるクローゼットを設置し、効率よい生活動線が実現したこと。それと、薪ストーブは視覚面でも成功。

**Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?**

A どんな問いにも社長自らわかりやすく答えてくれ、建築家さんとも直に話すことができ、すべての進行に不安がありませんでした。



Builder:  
担当/山本雅彦さん

**Q1. この家のコンセプト、ポイントは?**

A 軽井沢で快適に暮らす自然素材の家。高断熱・高気密はもちろん日射効率や屋内各所からの景色に配慮しています。

**Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。**

A 高性能+パッシブデザインで低燃費を実現、県産自然素材とそとん壁使用による高耐久仕様、回遊動線・適材適所の収納等。

**Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?**

A オーナー様のリクエストを的確に汲み取り、それをいかにして形にするか。それが我々の使命と考えています。

